



関西国際空港・大阪国際空港 G20 大阪サミット開催に伴う両空港の主な利用規制について

G20 大阪サミット開催に伴い、関西国際空港及び大阪国際空港にて保安体制が強化されます。また、両空港のアクセスにおいて、大規模な交通規制が予定されております。

ご利用の皆様にはご不便をお掛けしますが、各関係機関の詳細情報を十分ご確認の上、期間中の保安体制の強化にご理解とご協力をお願いいたします。

G20 大阪サミット開催期間中及びその前後に関西国際空港・大阪国際空港をご利用のお客様は、**十分な時間の余裕を持ち、交通規制の影響を受けにくい鉄道のご利用**をお願いいたします。

【関西国際空港における主な規制】 ※6月12日現在

- ・ **関西国際空港 連絡橋の通行規制** 6月27日(木)～6月30日(日)
 - (1) 要人等が大阪市内方向へ向かう時は、関西国際空港からりんくうタウン方面が通行不可となります。空港方面に向かう車両は原則通行可能ですが、規制中は空港島内から出ることができないため、空港島内に車両が滞留する可能性がある場合には入島制限を実施することがあります。
 - (2) 要人等が空港方面へ向かう時は、りんくうタウンから関西国際空港方面が通行不可となります。空港方面に向かう車両は、規制解除まで待機していただくこととなります。

※期間中、阪神高速湾岸線を含む高速道路の主要区間において、通行止めなど大規模な規制が実施されます。
- ・ **車両検問の実施**

G20 大阪サミット開催に伴い、空港島に入島する際に警察官による車両検問が実施されます。
- ・ **リムジンバス運休・ダイヤ変更** 6月27日(木)～6月30日(日)

リムジンバスは、高速道路や主要道路での交通規制等のため正常な運行が確保できない可能性が高いため、運休や運行方法の変更(間引き運行等)が行われます。ご乗車前にご利用のバス会社にご確認ください。(バス運行会社HPは最後に掲載)
- ・ **ベイ・シャトル運休** 6月27日(木)及び6月29日(土)

ベイ・シャトル(神戸空港～関西空港の高速船)は、空港島内の道路の交通規制により、関西空港のポートターミナル桟橋と旅客ターミナルビルを結ぶ連絡バスへ接続ができないことも想定されるため、両日とも全便運休となります。また、28日(金)及び30日(日)も、急遽一部の便が運休になる可能性があります。(ベイ・シャトル運航会社HPは最後に掲載)
- ・ **手荷物検査実施** 6月27日(木)～6月30日(日)

旅客ターミナルビル入口において、警察官による航空券等の確認と手荷物検査が実施されます。
- ・ **コインロッカー使用中止・ゴミ箱一部撤去** 6月24日(月)～6月30日(日)

旅客ターミナルビル内とエアロプラザ等のコインロッカーの使用を中止します。また、関西空港駅周辺及び駐車場のゴミ箱を一部撤去します。

- ・手荷物カート使用禁止 **6月27日(木)～6月30日(日)**
旅客ターミナルビル、エアロプラザ、空港駅コンコース等での手荷物用カートの使用を中止します。
- ・展望ホールの閉鎖・展望ホール発着バスの運休 **6月27日(木)～6月30日(日)**
関空展望ホールが全館休館します。展望ホール発着のバス(第1旅客ターミナル・りんくうプレミアムアウトレット)は運休し、展望ホール駐車場も終日閉鎖します。
- ・ドローン規制 **5月29日(水)～6月30日(日)**
空港における許可のないドローンの飛行は航空法等により禁止されていますが、該当期間においては、大阪府条例にて関西国際空港及びその周辺約1,000mを含む対象地域で飛行が禁止されています。
- ・関西国際空港周辺海域の規制 **6月24日(月)～6月30日(日)**
期間中、大阪港・関西国際空港周辺海域を航行予定の船舶は、航行予定の事前の通報(事前通報)が必要です。また、航行自粛海域・占用海域における航行については自粛が要請されています。

【大阪国際空港における主な規制】 ※6月12日現在

- ・周辺高速道路の規制 **6月27日(木)～6月30日(日)**
阪神高速道路環状線を中心に、池田線を含む複数路線において通行止め規制が早朝から深夜まで実施されます。
- ・車両検問の実施
G20大阪サミット開催に伴い、空港周辺道路において警察官による車両検問が実施されます。
- ・リムジンバス運休・ダイヤ変更 **6月27日(木)～6月30日(日)**
リムジンバスは、高速道路や主要道路での交通規制等により、正常な運行が確保できない可能性が高いため、運休や運行方法の変更(間引き運行等)が行われます。ご乗車前にはご利用のバス会社にご確認ください。(バス運行会社HPは最後に掲載)
- ・手荷物検査の実施 **6月27日(木)～6月30日(日)**
旅客ターミナルビル入口において警察官による航空券等の確認と手荷物検査が実施されます。
- ・コインロッカー使用中止・ゴミ箱一部撤去 **6月24日(月)～6月30日(日)**
旅客ターミナルビル内とモノレール大阪空港駅等のコインロッカーの使用を中止します。また、旅客ターミナルビル内のゴミ箱を一部撤去します。
- ・展望デッキ閉鎖 **6月27日(木)～6月30日(日)**
屋上展望デッキを閉鎖します。(屋上店舗については営業予定ですが、詳しくはホームページをご確認ください)
- ・ドローン規制
空港における許可のないドローンの飛行は航空法等により禁止されています。

【関西エアポートの体制・取り組み】

関西エアポートは、G20 大阪サミットの開催について、以下のとおり貢献してまいります。

・社内体制

G20 期間中の体制強化のため、社内チームを立ち上げると共に関係機関・事業者との情報共有・連携を行い、空港の安全確保に努め、安全運航を支援いたします。

・警備強化

関西国際空港において、お客様、空港従業員等の保安検査のための専用機器を設置し、警備強化を図ります。

・利用者への周知

WEB サイトや SNS 等で、各種規制および交通機関等への影響について情報発信を行います。

■各関係機関の詳細情報は下記 URL をご確認ください。

・関空連絡橋、高速道路の規制及び検問について

大阪府警察：<https://www.police.pref.osaka.lg.jp/topics/G20/7402.html>

・リムジンバス運休・ダイヤ変更について

関西空港交通：<http://www.kate.co.jp/info/>

大阪空港交通：<https://www.okkbus.co.jp/news/>

・ベイ・シャトル運休・ダイヤ変更

OM こうべ：<https://www.kobe-access.jp/>

・ドローン規制について

警察：https://www.police.pref.osaka.lg.jp/topics/G20/drone_kinshi.html

大阪府：<http://www.pref.osaka.lg.jp/summit/drone/index.html>

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
企画・管理部 コーポレート・コミュニケーションズ
Tel : 072-455-2201

関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス40%、 ヴァンシ・エアポート40%、 その他の出資者20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界37カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、46空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス、ポルトガル、イギリス、スウェーデン、セルビア、カンボジア、日本、アメリカ合衆国、ドミニカ共和国、コスタリカ、チリ、そしてブラジルの空港には、合計で約250社の航空会社が就航し、2018年の旅客数は2億4,000万人にのぼります。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとしての専門知識を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして、空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設事業を行っています。

2018年の連結売上高は16億ユーロ、グループ全体の売上高は36億ユーロ（関連会社含む）に達しました。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構